

学級活動学習指導案

安芸高田市立美土里中学校
指導者 児玉 祥 格

- 1 日 時 平成24年10月5日(水) 13:50~14:40
- 2 学 年 第1学年(男子9名, 女子18名 計27名)
- 3 場 所 美土里小学校 音楽室
- 4 題 材 「学校の昼食は給食より弁当の方がよい？」
内容 (2)ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

5 題材について (1) 生徒の実態

本学級の生徒は小学校のときからクラス替えがなく、現在とほぼ同じメンバーの学級である。6月に行った生活アンケートでは以下のような結果となった。

項目	本校 第1学年	広島県 (H24年度)
将来の夢や目標を持っています。	74.0%	76.1%
将来の夢や目標はかなうと思います。	70.4%	64.3%
自分にはよいところがあります。	77.8%	64.4%
自分のよさはまわりかの人から認められていると思います。	66.7%	52.8%
努力すれば、自分もたいていのことはできると思います。	79.2%	80.1%
毎日朝食を食べている	100.0%	94.9%
食事をするとき栄養を意識しながら食べている。	80.0%	
給食の時間が好きである。	83.3%	

本学級の生徒にも6月に広島県「基礎・基本」定着状況調査の生徒アンケートと同じ内容のものを行った。その結果、「将来の夢や目標を持っています」では県平均より-2.1%であった。その他の自己実現力・自己効力感を問う項目では県平均より+5%以上であった。本校の多くの生徒が将来の夢や目標を持って、それに向かって努力をしている。また、食に関する生活アンケートでは「毎日朝食を食べている」では県平均より+5.1%で、クラス全員の生徒が学校に来るときには朝食をきちんと食べている。他の食に関するアンケートにおいて栄養に関する項目や給食の項目では少し数値が下がっている。これまで昼食の時間を中心として、楽しく食事すること、偏りのない食事のとり方、食中毒の予防にかかわる衛生管理の在り方など継続して指導を行ってきた。

(2) 題材設定の理由

本題材は、中学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕内容(2)「適応と成長及び健康安全」のケ「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」にかかわるものである。〔学級活動〕の目標である「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる」ことに対して中心的な題材と考える。

今回取り入れるディベートという手法は大きく次の要素を持ったものである。

- | |
|-----------------------------------|
| ① 論題を設定し、肯定派、否定派に分かれる |
| ② ルールに従って両派が立論、質問、反駁の順に進めていく。 |
| ③ 両派の意見を聞いたあと、審判が点数を付けていき、勝敗をつける。 |

ディベートとは、ある論題(テーマ)について肯定派(賛成派)と否定派(反対派)に分かれて一定のルールに従って討論をし、論証の強さを第三者である審判団は判定する学習である。ディベートでは自分の立場をはっきりさせて筋道を立ててきちんと話す力、相手の立場や意図を考えながら話の内容を的確に聞き取る力、相手を論破するために的確な質問をする力などが求められる。また、どの生徒も参加可能な論題を工夫することで、社会環境や生活環境の違いなどにも目を向け、日常生活や社会に対してもっと意識させたい。

今回、自分たちの食生活を見直す機会として、学校給食を題材としてのディベートを設定した。このディベートを通して、生徒が健康の大切さを実感し、生涯にわたって自己の健康に配慮した食生活を営めるよう、食育の観点を踏まえ、健康・安全に関して興味関心が持てるようにしていきたい。

6 指導のねらい

規則正しく調和のとれた食生活を考え、自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯を通じた望ましい食習慣を身につけようとする態度を育てる。

7 学級活動(2)の評価規準

①集団活動や生活への 関心・意欲・態度	②集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	③集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

8 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

日時	学習活動	指導上の留意点 (☆ 努力を要する生徒への支援)	目指す生徒の姿と評価方法
----	------	-----------------------------	--------------

<p>10月2日 (火)</p>	<p>「学校の昼食は給食より弁当のほうがよい？」というテーマに対して ・立論原稿を書く ・質問や反駁を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成・反対の立場からそれぞれの根拠を明確にした立論を書かせる (☆ワークシートやパターンに沿って書かせる。(話型を決める)) ・インターネットや本を使い、食に関する必要な情報を調べる。 ・保護者や地域、身の回りの方などから食に関する取材活動を行う。 ・想定される質問を考え、それに対する答えを用意する。 (☆根拠が弱い部分を考え、それをどう補足するかを意識させる。) 	<p>【思考・判断・実践】 班の中で話し合い活動を受け昼食に関する考えを原稿にまとめたり，想定される質問に対し，答えを用意したりする。また，反駁を考え，その答えを用意する。 ＜原稿＞</p>
<p>10月5日 (金) (本時)</p>	<p>ディベートを通して，自分たちの食生活について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベーター，審判，司会者などそれぞれの立場で目的をはっきりさせる。 (☆状況を見ながらサポートを行う。) <ul style="list-style-type: none"> ・ディベート終了後，本時の振り返りを行い，自分の食生活について考えさせる。 	<p>【知識・理解】 ・食生活と健康，安全の結びつきについて理解している。＜発言＞</p> <p>【知識・理解】 ・食生活と健康，安全の結びつきについて理解している。＜発言＞</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・自らの食生活を振り返る中で，自己の健康に配慮した食生活をしようとしている。＜振り返りカード＞</p>

(2) 本時の指導と生徒の活動

① 本時の活動テーマ「ディベートを通して，自らの食生活について考えよう」

論題：「学校の昼食は給食より弁当のほうがよい？」

② 生徒の活動計画

- 1 役割(立場)に応じた活動を行う。(自己決定の場合)
- 2 賛成派・反対派に分かれてディベートを行う。(共感的人間関係，自己存在感)
- 3 授業の振り返りを行い，ワークシートを記入する。(自己決定の場合)

③ 本時のねらい

- ・中学校の昼食について、異なる立場から議論（ディベート）することで、規則正しく調和のとれた食生活を考え、自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯を通じた望ましい食習慣を身につけようとする態度を育てる。

④ 教師の指導計画 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点 (☆努力を要する生徒への支援)	目指す生徒の姿 と評価方法
活動の開始 (5分)	1 前時までの確認 2 本時の確認・論題の提示	・それぞれの立場で作成した発表原稿の確認をさせる。 ・本時の課題を把握する。	発表原稿がしっかりと書かれている。
活動の展開 (40分)	3 ディベート 実践	<p>ねらい：「ディベートを通して、自らの食生活について考えよう」 論 題：学校の昼食は給食より弁当のほうがよい？</p> <p>・ディベートを行う。 ☆ 様々な角度から自らの食生活を意識できるよう必要なアドバイスをを行う。</p> <p>【自己決定の場】 【共感的人間関係】 【自己存在感】</p> <p>☆ 大学生に肯定側、否定側、審判にそれぞれ数人ずつアドバイザーとして入ってもらい、必要なア</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>・食生活と健康、安全の結びつきについて理解している。＜発言＞</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・食生活と健康、安全の結びつきについて理解している。＜発言＞</p>
	<p>予想される生徒の反応</p> <p>・肯定派→ お弁当の方が美味しい。 ・否定派→給食の方が美味しい。 → 量が調度良い。 →温かいものが食べられる。 → 好きな物が食べられる。 →保護者の負担が減る。 (リクエストできる) →栄養のバランスがとれている。</p>		
	<p>ディベートの留意点</p> <p>① 個人的な感情でなく、論理立てた説明をさせる。 ② 時間内に言いたいことを正確に伝えさせる。 ③ 議論がかみあっているかを判定させる。 ④ 審判は個人的な感情で判定せず、自分の意見を持って判断させる。</p>		

活動のまとめ (5分)	4 本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベート終了後、自らの食生活について、課題を明確にし、何をどのように努力したらよいか具体的に自己決定し記入する。 	【思考・判断・実践】 ・健康の大切さを実感し、自己の健康に配慮した食生活を意識して、行動しようとしている。 <振り返りカード>
	5 教師によるまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートについて触れながら、健康の大切さを実感し、自己の健康に配慮した食生活についての具体例を話し、実践への意欲を高める。 	

(3) 事後の指導と生徒の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点 (☆努力を要する生徒への支援)	目指す生徒の姿と評価方法
10月12日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めたことについて努力する。 ・ディベート後の自分の食生活の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定期間経過後、実践状況や家庭での取り組み状況について振り返る場を設ける。 ・助言や励ましを行い、確実に実行できるようにする。 	【思考・判断・実践】 ・健康の大切さを実感し、自己の健康に配慮した食生活を意識して、実践している。<振り返りカード>

9 板書計画

ねらい：「ディベートを通して、自らの食生活について考えよう」

論題：「学校の昼食は給食より弁当の方がよい？」

肯定側

否定側

ディベート進行表	
司会者の進行説明	
役割の確認	
① 肯定側の第1立論	⑤ 否定側 反駁
② 否定側の第1立論	⑥ 肯定側 反駁
③ 肯定側の第2立論	⑦ 判定結果 発表
④ 否定側の第2立論	⑧ 審判団 講評